

生まれた地域で幸せに働く応援事業 「ふれワーキング」勉強会

特定非営利活動法人 南大阪自立支援センター
〒590-0963 大阪府堺市堺区少林寺町東 2 丁 2 番 3 号

助成事業の概要

障がいがあり、特別支援学校や地域の支援学級に通う小学生、中学生、高校生たちに、当法人の放課後等ディサービスを利用する時間を（放課後、土曜日、祝祭日、長期休暇）使って幼年期から地域住民や地域企業との連携を構築するため、地域、企業、学校、家庭、放ディなどの支援を受けながら、週に 1 回 1 時間程度、支援員やボランティア住民に付き添ってもらい、職場体験学習「ふれワーキング」を継続していき、地域社会に障がいへの理解を深めてもらう事業です。

その成果や課題を年 2 回の勉強会を開催することにより、事業の発表、広報をし、障害者に対する既存の価値観や偏見に揺さぶりをかけ、社会の有り様を考える自立した地域社会をつくっていかうとする活動です。

事業の成果

障がいの重い児童であっても、時間をかけ経験を積み、できるようになるまで待つてあげることができれば、大抵のことができるようになるのを実体験してきました。できることが増えれば、視野が広がり行動に自信が生まれ自尊心の向上に繋がっていきます。そして、その自信や経験が将来の自立への一歩となります。高校生になってからの職場実習で、「ふれワーキング」で養った経験をいかし、より実りのある実習にすることが出来るでしょう。また、障害者側だけでなく、賛同し協力してくれる企業、法人を増やすことにより、

地域社会の効率性を高め、地域の地域住民主体の事業なので、既存の組織に依存せず、地域の課題は地域で考え解決していく自立した住民の集まる場の再生をしていきます。そして、障がいに対する偏見、価値観を取り払い、将来、自分の生まれた地域で地域住民に囲まれ、見守られ幸せに働き自立できるような社会をつくっていく。

成果の広報、公表

当法人は、任意の団体ではありますが、触法障がい者の問題において、社会的弱者を救う連絡協議会や全国自立支援センター連絡協議会などに属し、主たる役員をさせていただいています。

今回の助成事業である年 2 回の勉強会には、多くのメンバーが全国から参加して下さり、貴重なご意見を頂戴しました。また、その方々が自分の地域で同じような勉強会をして下さり、当法人の職員も参加させていただきました。助成事業の活動報告書は堺市内の小、中、高校や支援学校に配布し、堺市の障害者支援課やこども家庭課、また、賛同いただく企業、法人にもお持ちし、お話をさせていただきました。

今後の展開

現在、「ふれワーキング」活動は、大阪だけでなく、和歌山、奈良、京都などでスタートしています。

先日は兵庫県西宮市にある法人よりご連絡をいただき、見学に来られました。少しずつではあり

ますが、着実に広がりを見せています。今後もこの広がり甘えることなく、積極的に活動の先頭に立ち邁進していきたいと考えています。それと逆行するように、自立支援法の改正以来、営利法人が多く福祉に参入し、就労では「悪しき A 型」、児童では「悪しき放ディ」などと呼ばれる法人・事業所が問題となっています。それらに対抗するためにも、当法人の今回の助成事業のような活動に賛同いただく企業・法人・各事業所をたくさん作って連携していき、本当の福祉を展開していきたいと考えます。